

平成29年6月10日

愛知県上海産業情報センター  
余語 克昭

## 一般調査報告書 中国中部地域（安徽省）について

### 1 安徽省の概要

安徽省は、中国華東地域の内陸部に位置し、北東部は江蘇省、南東部は浙江省、南部は江西省、西南部は湖北省、西北部は河南省と接する内陸省です。

安徽省は、清代（1667年）に設置され、安慶府と徽州府の最初の字を取って安徽と名づけられました。安徽省の略称は「皖」ですが、これは春秋時代（紀元前722年～紀元前481年）に「皖国」があったことに由来していると言われていいます。省の北部を淮河、南部を長江が西から東へと横断して流れ、淮河の北側と長江流域には平野が広がることから、古くから文化が栄えた地域で、荘子や三国志で有名な曹操や周瑜、明を建国した朱元璋、清末の政治家である李鴻章、現代においては胡錦濤元国家主席、李克強首相など、歴史上非常に多くの著名人を輩出しています。

現在においては、発展著しい長江デルタ地帯の後背地として注目を集め、開発が進んでいる地域であり、三菱電機、日立製作所、日立建機、住友理工等の日系企業が既に同省に進出し、ビジネスを展開しています。

気候は、温帯から亜熱帯に移行する地域に属し、北部は温帯半湿潤季節風気候、南部は亜熱帯湿潤季節風気候で、温暖湿潤、日本人には非常になじみやすい気候です。省内には黄山（古代から「黄山を見ずして、山を見たというなかれ」と言われる山岳景勝地）、安徽南部の古村落（西遞と宏村）の2つの世界遺産があり、訪れて見ると、谷を流れる清らかな清流、古村落や近郊の田園風景など、日本人にとって非常に懐かしさを覚える、しっとりとした風景を楽しむことができる地域でもあります。

2015年の統計によれば、省全体の常住人口は6,949.1万人、就業者数は4,342.1万人、面積は13.94万平方キロメートル(中国全体の1.5%、北海道の約1.7倍)です。安徽省統計局によると、同省の2016年の域内総生産（GDP）は前年比8.7%

増の2兆4,117億9,000万元（約39兆7,200億円）で、中国全国の約3%を占めています。産業別の内訳を見ると、第1次産業が2.7%増の2,567億7,000万元（全産業におけるシェアは10.6%）、第2次産業が8.3%増の1兆1,666億6,000万元（同48.4%）、第3次産業が10.9%増の9,883億6,000万元（同41.0%）で、第二次産業のウェイトが最も高くなっていますが、このシェアは、2014年以降、減少してきており、年々第3次産業の比率が上昇してきています。

この安徽省の2016年におけるGDP成長率の8.7%という数値は、中国全体のGDP成長率（6.7%）を2ポイント上回っている数値で、さらに、消費市場の動向を示す小売総額の伸びも12.3%と全国の10.4%を超過しており、小売総額の全国シェアは約3%に達しているなど、経済規模の成長という点では、非常に有望で大きく伸びている地域ということが伺えます。

省都は合肥市で、合肥という名前は、三国志の「合肥の戦い」でご存知の方も多かろうと思います。合肥の歴史も古く、紀元前3世紀に秦が合肥県を置いた時から、二千数百年の歴史を有しています。

合肥市は、長江デルタの沿岸都市に最も近い内陸の省都で、安徽省の政治、経済、文化、金融およびビジネスの中心として発展してきました。日系組織として合肥日商倶楽部があり、2015年3月末現在、法人会員43社、個人会員合わせ150名の会員があるとのこと。

先日、合肥市を訪れる機会がありましたが、訪れるまでは、上海など沿岸部に比べて、まだまだ発展が未成熟という認識を持っていました。しかし、現在の合肥市は、地下鉄が運行され、街行く人々の服装もなんら沿岸部の大都市に引けを取らず、洗練された大都会であることに驚かせられ、数値でも示されたとおりの同地域の発展を見ることができました。

また、本県の中部国際空港からも、東方航空・春秋航空の2社合わせて週6便（2017年5月現在）の直行便が運航しています。合肥市のような都市部を中心に、安徽省においても、これらの航空便を利用して日本を訪れる中間・富裕層が増加してきており、人々の生活レベルが向上し、豊かになってきていることの証左となろうかと思えます。

## 2 第10回中国中部投資貿易博覧会 ジャパンパビリオン出展

さて、そのように発展が著しい安徽省・合肥市において、5月17日（水）から

19日（金）の3日間、第10回中国中部投資貿易博覧会が開催されました。

中国中部投資貿易博覧会は、中華人民共和国商務部、国家工商行政管理総局等の中央機関、全国工商業聯合会、中国国際貿易促進委員会、中国工業經濟聯合会及び安徽省等中部6省の人民政府等が主催し、中部6省（安徽省、湖北省、湖南省、江西省、河南省、山西省）持ち回りで開催される、大規模な貿易博覧会です。

今回（第10回）は、合肥市の合肥濱湖国際会展センターを会場に、海外商品展、Eコマース展、総合展、装備製造展、健康養老産業展、文化・金融・サービス展、商品貿易展が同時に併設開催されました。本県も、海外商品展内に設置されたジャパンパビリオン（日本貿易振興機構（ジェトロ）主催、9社・1団体・8自治体が出展）において出展し、本県の産業や観光をPRする機会を得ました。



ブース風景



ブース風景

当日は、ジャパンパビリオンを訪れた非常に多くの来場者に対し、大変活気のある中で、パンフレットを配布し本県のPRを行いました。来場者からは、産業や観光地についての質問も多く寄せられ、日本の産業・観光への興味の強さ、生活レベルの向上に伴う消費拡大への活力を感じることができました。

上海産業情報センターでは、今後も引き続き、中国において、本県の産業・観光情報の発信に取り組んでまいります。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。